

アポプラスキャリア ラーニングカフェ

産業保健師を組織になじませるコツ

仕事と職場にフィットさせるための
オンボーディング

即戦力として産業保健師を採用したものの、病院と企業とのギャップが受け入れられず孤立しがちという声をよく耳にします。企業という場において産業保健師をどのように仕事や職場にフィットさせていけばいいのでしょうか。第3回は産業保健師を受け入れ、定着・戦略化させるためのヒントを探ります。

開催日時：2024年2月16日 16:00-17:30

会場：新東京ビル4F SR MeetupSpace

講師：久保さやか / 保健師

アポプラスキャリア株式会社

エグゼクティブアドバイザー

「中途採用を活かす」視点で考える

今回、7人の健康管理担当者が参加し、過去の2回の内容を振り返りながら始まりました。部署ごとに異なる課題があることや、産業保健師と各部署との業務上のギャップを認識した上で、産業保健師の98%以上が中途採用であることから、「中途採用者を活かす」視点で定着について検討する提案が行われました。



中途採用産業保健師の定着に必要なもの

キーワードになるのが「オンボーディング」。中途採用者は「スキルを持った即戦力」と理解されがちですが、実は「スキルや知識の習得」「暗黙のルールの理解」をはじめとした6つの課題を持っており、それらを解決することが定着につながると講師は話しました。また、オンボーディングが充実している方が、中途採用者の定着率とパフォーマンスが高いというデータを示し、入社時の研修やフォローアップ研修、上司との定期的な面談や懇親会などを実施している企業が多いと情報提供しました。

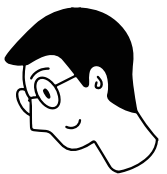


企業と保健師それぞれが獲得したいスキル

次に、講師の介入により定着率を高めた事例を提示し、企業がやるべき中途採用者の組織再社会化施策として、教育・デザイン・個別という3つのカテゴリーに分けて具体的な内容を説明しました。一方で、保健師自身もアンラーニング（染みついたものを痛みを伴いながら変えること）する必要があるとし、そのきっかけとして保健師スキルチェックシートを活用し、自己を振り返る機会を持つことを提案しました。参加者の多くがこれに関心を示し、今後活用したいという意向を示しました。終了後は自然と参加者同士が情報交換する場が生まれ、産業保健師をどのようになじませているのか、他社の奮闘ぶりを興味深く聞きあう姿がみられ、参加者はそれぞれヒントを持ち帰りました。

参加者の感想

保健師を職場にフィットさせる観点、特にオンボーディングはとても参考になりました。



多くの方が同じ悩みを持っているとわかり、いただいたヒントを早速活用していきたいです。

お問い合わせ先

アポプラスキャリア株式会社

ヘルスケアソリューション事業部

カスタマーサクセス

〒100-0005

東京都千代田区丸の内三丁目3番1号

新東京ビル7階

TEL 0120-842-862

MAIL apc-kan543@ap-c.co.jp

